

学習状況診断票（理科） 中学校 第2学年

2年 組 番 氏名

分野	問題番号			出題の意図	評価の観点			
	大問	小問	通番		科学的思考	技能・表現	知識・理解	
第一分野	1	1	1	電流計や電圧計を入れた回路図を作図する力を身につけている。				
		2	2	電圧計の一端子を適切に選択できる実験技能を身につけている。				
		3	3	測定値を正確にグラフ用紙上に記録し、比例のグラフを表す力を身につけている。				
		4	4	測定値から、オームの法則を使って抵抗の値の求め方を理解している。				
		5	5	測定値から、2つの電熱線の抵抗や電圧と電流の関係について考えることができる。				
	2	1	6	水酸化ナトリウム水溶液が誤って皮膚に付いたときの対処方法を身につけている。				
		2	7	水の電気分解の操作手順を身につけている。				
		3	8	水を電気分解したときに陰極で発生する水素の調べ方を身につけている。				
		4	9	水の電気分解の実験結果と水の分子のモデルを基にして、水の電気分解をモデルで考えることができる。				
	3	1	10	棒磁石のまわりのできる磁界の向きについて理解している。				
		2	11	棒磁石を近づけるとときと遠ざけるとときは誘導電流の向きが変わることを理解している。				
		3	12	電磁誘導の実生活の中での用途を理解している。				
	4	1	13	銅と酸素を十分化合させるための実験の仕方を身につけている。				
		2	14	銅の質量とできた酸化銅の質量が比例していることから、実験していない質量の銅を熱した時にできる酸化銅の質量を考えることができる。				
		3	15	実験結果から銅の質量と化合した酸素の質量の関係を考えることができる。				
		4	16	銅と酸素が化合して酸化銅ができる化学反応式を理解している。				
第二分野	5	1	17	だ液をふくませたろ紙の他に水をふくませたろ紙も準備する理由が分かり、だ液の働きを調べる実験方法を身につけている。				
		2	18	ヨウ素液の反応の結果からわかることについて、考えることができる。				
		3	19	ベネジクト液の反応を確かめる方法を身につけている。				
		4	20	ベネジクト液は糖に反応することを理解している。				
		5	21	ヨウ素液とベネジクト液の両方の反応からわかることについて考え、だ液がデンプンを糖に変えていることを説明することができる。				
	6	1	22	刺激を受けてから反応までにかかる一人あたりの時間を求め方を身につけている。				
		2	23	刺激を受けてから行動を起こすまでの仕組みを理解している。				
		3	24	日常生活の中で見られる行動のうち、刺激を受け、大脳で判断し、反応する行動を理解している。				
	7	1	25	背骨がある動物がセキツイ動物であることを理解している。				
		2	26	セキツイ動物の分類の観点を説明することができる。				
		3	27	セキツイ動物の分類の観点をもとに、未知の生物の分類について考えることができる。				
		4	28	ワニやカメがハチュウ類であることを理解している。				
						/8	/10	/10

今後の学習に向けて ※自分が頑張りたいところに○を付けましょう。

科学的な思考	<ul style="list-style-type: none"> 課題について自分の考え(予想)をもち、観察や実験からわかることや、はじめの考えがどのように深まったかを自分の言葉で書くことを大切にしましょう。また、何のためにその観察や実験を行うのかという目的をしっかりと、その観察や実験ではどのような結果が予想されるかという見通しをもちながら追究できるとよいです。 「電流」「化学変化と原子・分子」「動物の世界」などで学習したように、直接目に見える事実をもとにして、モデルなどを使いながら目には見えない世界のきまりを見つけていくことや、それまでに学習したことを生かして観察や実験の方法を考えることを大切にしましょう。
観察・実験の技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> 電流計や電圧計など、観察や実験に必要な器具や機器は自分から進んで使い、観察や実験を正しく安全に行うために特に注意する点やそのわけについて考えるようにしましょう。また、観察や実験は、決められた時間内に効率よく行うようにしましょう。 観察や実験の結果を表やグラフにまとめたり、創意工夫した見やすい実験報告書を作成し、それをもとにわかりやすい発表をしたりすることを大切にしましょう。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験の結果や授業のまとめなどをただ覚えるのではなく、予想や考察などで自分の考えをノートに書いたり話し合いに積極的に参加したりして、「自分の考えをもつこと」を大切にしながら知識を身につけていきましょう。 「予想」「実験の計画」「考察」などでそれまでに学習したことがらをもとにして考えることや、日常生活と結びつけて理解することを大切に、活用できる知識にしていきましょう。